令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	家庭	科目	生活と福祉	学年	第3学年	類型	I型選択
単位数	3単位	教科書	生活と福祉（実教出版）				
補助教材							

学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を養う。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考查
1 学期	4月	1章 健康と生活	WHO憲章の健康の定義について、身体的・精神的・社会的な側面から理解し、基本的人権や生存権について学習するとともに、その権利を保障する取り組みについて考える。 ライフステージごとの心身の特徴と健康管理における課題を理解する。	期末 考查
	5月	①健康に関する諸概念		
	6月	②ライフステージと健康管理		
	7月	2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴 ①少子高齢化の現状		
2 学期	8月	②家族・地域の変化	社会の変化と高齢化について理解する。 高齢者の心身と特徴や病気、疾患、症状について理解し、生活課題やそれらに対する施策を知る。	期末 考查
	9月	③高齢者の心身の特徴		
	10月	④高齢者の病気		
	11月	⑤高齢者の生活課題と施策		
	12月	3章 高齢者の自立支援 4章 高齢者支援の法律と制度		
3 学期	1月	5章 介護の実習	高齢者にみられる心身の変化に対応した体位変換、歩行介助、車いすの移乗・移動など基本的な介護技術を習得する。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

学習の方法	講義、ワークシート、実習、体験的な活動など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習する。保健センターや福祉施設での実習を通して、達成感を味わいながら実践力の向上を目指す。
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度
		高齢者の健康と生活、介護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実について合理的かつ創造的に解決する力を養っている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考查、実習、ノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に評価する。		